

質 問 者 高 野 晃

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 住民の不安に寄り添う 原発行政を	<p> 昨年の12月26日に営業運転を再開した女川原発 2号機ですが、乾式貯蔵施設の進捗や機器の不具 合等の問題がプレスリリースされていますが、そ の中で疑問を抱いた点について伺います。 </p> <p> (1) 5月26日及び6月20日に不具合が確認され た水素濃度検出器の案件について詳細を伺い ます。 </p> <p> (2) 10月22日の定期点検中に手動での動作が不 能になった制御棒について原因と対策等を伺 います。 </p> <p> (3) 7月29日に詳細設計に関わる「設計及び工 事計画認可申請書」について、準備が整い次 第、原子力規制委員会に提出としていました が、既に提出していますか。また、再処理工 場で処理できない燃料であった場合、乾式貯 蔵施設に使用済み燃料が貯蔵されたままにな ると懸念されますが、その場合の対応につい て伺います。 </p> <p>(質問の相手：町長、担当課長)</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
2 部活動地域移行（地域展開）の方向性は	国から令和7年度までに休日の部活動を段階的に
	地域へ移行、令和8年度から6年間をかけて平日の
	部活動も地域に移行させる方針が示されており、県
	内各自治体でも取組が進められており、教員の負担
	軽減や地域スポーツ、文化活動の活性化、生徒の多
	様な学びの機会を保障する観点からも、地域移行は
	避けては通れない課題となっています。
	そこで、現在の課題認識と今後の方向性について
	伺います。
	（1）部活動地域移行の概要を伺います。
	（2）女川中学校における部活動地域移行の進捗状
	況と、部活動の地域移行を進めていくうえでの
	課題を伺います。
	（3）来年度より改革実行期間とのことですが、今
	後の女川中学校の部活動地域移行に関する方向
	性とロードマップの作成は行いますか。
	（質問の相手：教育長、担当課長）